

CD チェンジャー拡張機能・純正デッキ AUX 入力ドングル 取扱説明書

Ver. 2.00

はじめに

この度はマニアックス純正デッキ AUX 入力ドングル(CD チェンジャー対応)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本品は、GOLF4などの VW 純正ヘッドユニット(SONY 製)の外部入力用デバイスで、iPod や HDD ナビなどのライン出力信号をヘッドユニットへ入力可能とするものです。本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

特長

- ・VW 純正 MD ヘッドユニット MDX-5V101、および MMS(VWX-8V50/51)に対応し、MD/CD チェンジャーをエミュレート。
- ・純正 CD チェンジャーまたは純正 MD チェンジャーとの同時使用が可能
(なお、接続可能なチェンジャーは1台のみに限ります。ソースセレクトとの接続も可能ですが、CD チェンジャーおよび MD チェンジャーの2台のチェンジャーとの同時使用はソースセレクトの有無に関わらず出来ません)。
- ・純正ヘッドユニット向け専用設計で、コネクタ形状以外にもプログラムをチューニング。
- ・VW マニアックス向けに洒落も少し実装。

本品の構成

最初に以下が入っているかをお確かめ下さい。

1. ドングル本体: 1つ



(ご注意)

CD チェンジャー接続ケーブルの敷設されていないものでは本品は使用できません。 接続ケーブルの敷設されていないお車での AUX 入力については、ヘッドユニット直結タイプのドングルをご利用ください。

2. 取扱い説明書: 1つ

本説明書です。

取扱上の注意事項

1. **本品は、MDX-5V101 および VWX-8V50/51 専用モデルです。これら以外のヘッドユニットでは動作を保証いたしませんのでご注意ください。** なお、Audi 用カセットデッキ(AU-650/660) については確認出来次第お知らせする予定です。
2. 本機を分解したり、改造したりしないで下さい。 ケーブルの加工等を行なう場合は、自己責任でお願いします。 改造などによる損害については保証しません。
3. 本機のコネクタ部を無理な力で引っ張ることや、本体に過大な力を加えるなどをしないでください。
4. 使用中に発熱・発煙・異臭などが発生した場合には、ただちに使用を中止してください。 また、故障したと判断される場合も使用を中止してください。
5. 本機内に異物を入れないでください。 火災、感電などの事故の原因となる場合があります。
6. エンジン停止中にオーディオを長時間使用されますと、バッテリー上がりを起こす恐れがありますのでご注意ください。
7. 安全運転のため、運転中は安全運転の妨げになるような操作は避けてください。
8. その他、ご不明な点がございましたら、VW マニアックスまでお問合せください。

保証事項

1. 商品の保障期間は、商品発送日から 60 日間です。
2. 保証期間内において、以下の内容について保証いたします。
 - (1) 製品の設計上、および製造上の不備によって不具合が発生した場合、無償修理、または同等品に交換いたします。マニアックスにて、改修の目処が立たないと判断された場合は、購入代金の返金を行いません。
 - (2) 本品の不具合によってヘッドユニットまたはチェンジャが原状回復不可能な故障を生じた場合については、同等の中古品による弁済を行いません。
 - (3) 上記保証に伴って生じる物品の送料については、マニアックスにて負担します。本品またはヘッドユニットの取り外し/取り付け作業については、お客様の負担となります。
3. 保証期間内でも次の場合は保証を適用しません。
 - (1) 本取扱説明書の手順に従わず、適切に取り付けられなかった場合、または、本取扱説明書に示された取扱いと異なる使用や整備が行われた場合。(マニアックスが動作を保証している機器以外の機器に対して取り付けられた場合など)
 - (2) 本品を改造した場合。
 - (3) 再販など、マニアックス以外から購入した場合。
 - (4) 火災、水害、落雷、または車輛側の異常電圧による故障。
4. その他
 - (1) 修理の際に取り外した不具合部品等は、マニアックスの所有となります。
 - (2) 不具合内容の確認などの目的で別途お問合せをすることがありますので、ご協力をお願いいたします。

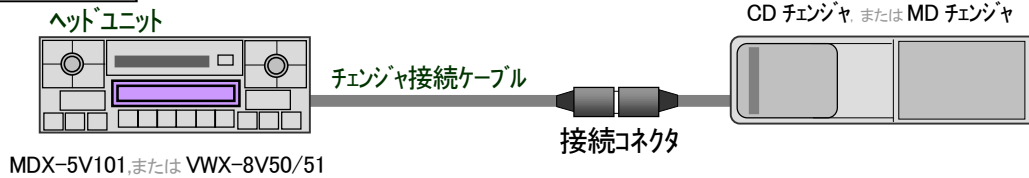
取り付け方法

1.取り付け作業の前に

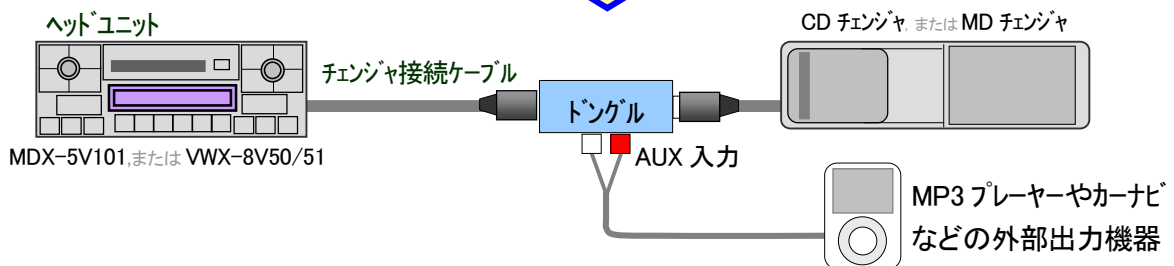
(1)接続の概要

本機は CD チェンジャ接続ケーブルの先に接続されます。これまで CD チェンジャ(または MD チェンジャ)を使用されていた方はその接続を一旦外し、本機を経由して CD チェンジャと繋がるように接続を変更します。

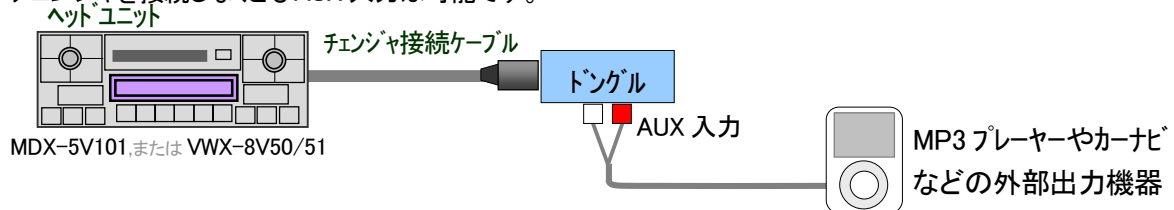
<従来の接続>



<ドングル取付け時の接続>



勿論、チェンジャを接続しなくとも AUX 入力は可能です。



(2)コネクタの説明

本機には以下のコネクタがあります。



(3)AUX 接続ケーブルについて

本機の AUX 入力端子の形状は、RCA のピン(ドングル側はメス型)となっています。お使いになる音楽ソース(iPod などの携帯型 MP3 プレーヤ、HDD ナビ)の接続用ケーブルについては、必要に応じてお客様にてご準備ください。

またカーナビ等の機器によっては専用オーディオのライン出力用ケーブルや専用アダプタが必要になる場合があります。その際に必要となるケーブルにつきましては、それぞれの音楽ソースの設置場所を考慮して、必要な長さを確保するようご準備ください。

<参考情報 1>

ゴルフの場合、トランク脇からリアシート中間(6:4 分割の部分を通過)してヘッドユニット位置まで室内を直線的に配線するには、**約 3m** のケーブルが必要です。

<参考情報 2>

純正 MD チェンジャ取り付けキットに付属のケーブルは **4.6m** です (ゴルフ、ゴルフワゴン、ポーラ、パサート、パサートワゴン、オーディオで共通の長さ)。サイドトリム内やグローブボックス裏にケーブルを隠す配線をする場合の参考にしてください。

(4)電源周りの安全確保について

電源ショートなどの事故を防ぐために、取り付け作業に際しては配線等に十分にご注意いただきますようお願いいたします。また、取り付け作業時にはヘッドユニットへ供給される電源ヒューズを抜くなどの対策をお勧めします。ヒューズボックスおよび該当するヒューズの位置、番号、およびヒューズの容量については、各車のマニュアルをご確認下さい。また、本マニュアルに記載されていない配線工事でのトラブルにつきましては、一切保証いたしかねますことをご承願います。

2.取り付けかた

(1)エンジンを停止する

万一作業中にシフトレバーなどに触れ、車が発進すると非常に危険ですので、作業は必ずエンジンを切った状態で行なってください。また、エンジン停止中にカーナビやオーディオ類を ON にしておきますとバッテリー上がりの原因となる可能性がありますので、各種電気機器類についても OFF になっていることを確認して下さい。

(2)CD チェンジャ接続ケーブルと CD チェンジャをドングルに接続する

CD/MD チェンジャをお持ちの方は、リアハッチ、トランク(または車種によって助手席下)の CD チェンジャと繋がっている接続ケーブル一旦外します。純正 CD チェンジャのコネクタはロックタイプになっていますので、**CD チェンジャ側コネクタのロック解除のボタンを押しながら**コネクタを引き抜いてください。無理に引き抜くと、故障の原因になりますので注意してください。

(なお、ドングルの DIN コネクタはロックタイプではありませんが使用上は問題ありません。)



次に、ここへ本機を接続します。

本機の正面から右側にヘッドユニットからのコネクタ(DIN メス)を、また、本機の左側にチェンジャ側ケーブルを接続します。

なお、CD チェンジャ側のケーブルは 20cm 程度しかありませんので、ドングルとの接続の際にはケーブルに無理な力が加わらないようにご注意願います。

(3)オーディオ用のラインケーブルを配線する

音楽ソースの設置場所に応じて、ドングルの RCA ケーブルを必要な場所に引き出しておき、これをドングルに接続します。紅白の色表示のとおりで、向かって右側の赤い RCA ジャックが R(右)、左側の白い RCA ジャックが L(左)となっています。

なお、「1.取り付け作業の前に」にも記したとおり、ドングルから音源までの接続ケーブルについては本品には付属していません。

お手数ですがご利用になる音源に適合するケーブルを準備の上、配線を行なってください。



(4) ドングルを固定する

ドングル本体は比較的軽量で、CD チェンジャーの下にぶら下げておいても接続が外れることは無いと思われませんが、長期の使用では振動等がケーブル断線の原因となることも考えられますので、しっかりと固定することを強くお奨めします。設置可能な場所をご使用になっている車種や装備によって様々かと思われしますので、本マニュアルでは固定方法については特に指定はしませんが、幾つかの固定方法の例を以下に示しますので参考にしてください。

〈案1〉: カーペットに括り付け

カーペットにカッターナイフなどで1cm程度のスリットを2箇所作り、ここにタイラップなどを通してドングルを括りつけて固定します。タイラップは長さは約20cm程度のもを使用してください。なお、左右のRCAジャックの間隔は7mm程度です。タイラップ購入時の参考にしてください。



〈案2〉: CD チェンジャー取り付け金具脇に括り付け

CD チェンジャーを取り付け金具でぶら下げているような場合には、この金具にドングルを固定することができます。固定面にスポンジ付きの両面テープや接着面のついたマジックテープ(ベルクロ)などでドングルを貼り付け、さらにタイラップや針金などを使って固定します。



(金具自体に厚みがありませんので、タイラップを使用する場合は、金具とドングルとの間に厚みのあるものを挟み込んでおくとしっかり固定できます。)

<案3>:CD チェンジャ上部に貼り付け

GOLF4の場合は、CD チェンジャの上部の隙間部分にドングルを置くことが出来る空間があります。ただしスペースが狭く、ケーブル接続後での配置は難しいので、ケーブルをチェンジャの裏面側から回しこんでチェンジャ上部でドングルへの接続を行ない(下図左)、その後、適切な位置にドングルを固定(下図右)してください。位置決めもし易さの点では、接着面のあるマジックテープが便利です。



接続確認方法

接続確認方法は、ご使用のヘッドユニットや同時接続のチェンジャの種類によって若干の違いがあります。以下では標準的と思われる CD チェンジャとの同時接続の場合、または、CDチェンジャを接続しない場合の確認方法を示します。MD チェンジャとの同時接続の場合については備考欄についてもお読みください。

【MD ヘッドユニット(MDX-5V101)の場合の確認手順】

- ★ ボリュームのつまみを 1 回押し、ヘッドユニットの電源スイッチを ON にします。ヘッドユニットが ON にならない場合は、再度 ON/OFF を繰り返してください。
- ★ 次に MD を選択します。MD ボタンを押し、MD2 が認識されることを確認します。このときヘッドユニットには“MD2 <AUX-IN>”と表示され、その後演奏時間表示となります。



(なお、ヘッドユニットに MD が挿入されている場合は、MD ボタンを 2 回押してください。1 回目で内蔵 MD が、2 回目でドングルが選択されます)

- ★ この MD2 が選択された状態で、ヘッドユニットのボリュームを適当に上げて、目立ったノイズがないことを確認して下さい。

【MMS(VWX-8V50/51)の場合の確認手順】

- ★ ボリュームのつまみを 1 回押し、ヘッドユニットの電源スイッチを ON にします。ヘッドユニットが ON にならない場合は、再度 ON/OFF を繰り返してください。
- ★ 選択ボタンを押し、選択可能なソースとして MD が画面下に表示されることを確認します。次に MD を選択します。すると画面左上に“MD”と表示され、右上にディスク番号、トラック番号、演奏時間、ディスク名などが表示されます。



【注意事項】

表示機能のデフォルト設定状態が MDX-5V101 用となっております関係で、MMS ご使用の場合は初回起動時において一部の正しく表示されません(左図のようにディスク番号が“?”となる等)。

お手数ですが、別紙の **MMS 用モード設定手順に従い表示モードの設定変更を行なってください。**

- ★ この MD が選択された状態で、ヘッドユニットのボリュームを適当に上げて、目立ったノイズがないことを確認して下さい。

【備考】:6 連装 MD チェンジャとの同時使用での動作について

MD チェンジャとの同時使用の場合、ドングルによる AUX 入力は MD エミュレーションではなく、**CD エミュレーション**となります。上記の確認手順については“MD”を“CD”と読み替えて下さい。また、CD エミュレーションの場合は、“<AUX-IN>”などのディスク名・トラック名表示がされず、演奏時間表示のみとなります。ご了承ください。

(なお、これはヘッドユニットの機能上の制約によるものです。)

ここまでの確認ができれば、次に、MP3プレーヤー等の音源を接続してAUX入力がヘッドユニットのスピーカーから出力されることを確認して下さい。

以上の確認が完了しましたらドングルの取り付けは完了です。



使用方法



MD、DSPL、AS、SCRL の各ボタン

(1)AUX 入力を選択方法

ヘッドユニットの MD ボタンを押して MD2 にすると、ドングルの AUX 入力モードになります。ラジオ(AM、FM)、内蔵 MD については、従来通り AM ボタン、FM ボタン、および MD ボタンで選択できます。

なお、ドングル接続時は、内蔵 MD(MD1)の演奏が終了しても、自動的に AUX 入力(MD2)に移行しないようになっています。(MDX-5V101 の場合)

外付け MD チェンジャ装着時、内蔵 MD と外付け MD チェンジャの両方に MD が装填されている場合には、MD1→MD2→MD1→MD2. . . . と演奏が繰り返されますが、本ドングルの場合は、ドングルに音源が接続されていない場合に MD1 演奏終了後に無音状態になるのを避けることを考慮して、MD1<->MD2 間を相互に自動では移行しないようにしています。(MDX-5V101 の場合)

(2)表示について

MDX-5V101 の場合は **DSPL ボタン**によって、ディスプレイの表示パターンを選択できます。 ボタンを押すごとに

再生経過時間 ⇒ 入力表示 ⇒ VW マニアックスポリシー表示 ⇒ 再生経過時間

の順に切り替わります。

(MMS の場合は全ての項目が同時に画面表示されます。 再生経過時間については下記(A)を参照してください。)

A)再生経過時間モード

AUX 入力にしてからの経過時間を表示します。 ヘッドユニットの電源 ON/OFF 時や、MD2 モード(MMS の場合は MD モード)への切替え時には、経過時間はゼロにリセットされます。

CD および MD 演奏時のトラック番号部分は“時”を表します。

- MDX-5V101 の場合、**起動時は“0”**で、1 時間経過ごとに “1”、“2” . . . “9” となります。 なお、ディスク番号部分は内蔵 MD の場合と同様に表示されません。
- VWX-8V50/51 の場合、**起動時は“1”**で、1 時間経過ごとに “2”、“3” . . . “9” となります。 なお、ディスク番号部分は“1”が表示されます。

また、MDX-5V101 の場合は、再生経過時間の舞偶数分の 0 秒から約 7 秒間に、“<AUX-IN>” または “VW-Maniacs” がディスプレイされます。(スクロール表示はしません)

B)入力表示モード(MDX-5V101 の場合のみ)

“<AUX-IN>” または “VW-Maniacs” の表示になります。 **AS ボタン**を押すことで “<AUX-IN>” と “VW-Maniacs” の選択ができます。

また、SCRL ボタンを 1 押すと、“<AUX-IN>” または “VW-Maniacs” の連続スクロールになります。 連続スクロールを停止させたい場合は、再度 AS ボタンを押して、“<AUX-IN>” と “VW-Maniacs” の選択からやりなおして下さい。

(C)マニアックスポリシー表示 (MDX-5V101 の場合のみ)

ステッカーなど色々なところに登場する、例のくんだり (“Not obsessed with your VW? That's OK,”) を表示します。
 なお、上記の入力表示モードとは異なり、SCRL ボタンを押しても自動での連続スクロールではなく、一巡のみのスクロールとなります。

(3)NextDisc 機能 (MDX-5V101 の場合のみ)

ヘッドユニット左下の **AS ボタン** を CD/MD チェンジャ演奏時の Next Disc ボタンとなるように割り付けました。6 連装チェンジャだけでなく、10 連装 CD チェンジャにも対応しています。なお、**前進のみで後退用ボタンはありませんが**、クイックに反応しますので、送りたい枚数だけ AS ボタンを押せば特にストレスなく希望のディスクに簡単に進むことができます。勿論 1~6 のダイレクトディスクボタンと併せて使用することも出来ます。

(なお、本機能は MDX-5V101 専用です。MMS には Next Disc / Previous Disc のボタンがありますのでそちらをご利用ください)



【参考情報】:SONY 製 10 連装 CD チェンジャの接続ケーブルについて

市販の SONY 製チェンジャの接続にはコネクタ形状の変換が必要です。変換ケーブルについては取扱っておりませんので、ご自分で加工されるか変換ケーブルを別途入手されるかして下さい。なお、VW 向け OEM のチェンジャ以外の接続によって発生した不具合については一切保証いたしかねますことをご承願います。

その他

ドングルに関してのご質問などがございましたら、マニアックス宛にお気軽にお問合せ下さい。また、マニュアルの更新や取り付けに関する情報についても順次掲載していく予定です。

別紙：MMS 用モード設定手順

注) 本資料は MMS(VWX-8V50/51)専用です。MD ヘッドユニット(MDX-5V101)をご使用の場合はお読み頂く必要はありません。

1.はじめに

量産版の CD チェンジャー対応ドングルでは、MD デッキ(MDX-5V101)と MMS(VWX-8V50/51)とを1つのプログラム上に実装しています。MMS の場合は、MMS 用のモードへ切り替えることで表示の不具合の問題に対応しています。

以下に、その切替え方法について説明します。

2. MMS モードとは

初期状態は、MD デッキ用モードになっています。このモードのまま MMS で使用すると以下の表示の問題が発生します。

- (A)ディスク番号が“?”となる
- (B)トラック名が表示されない
- (C)分の表示が 10 分以降で正しく表示されない

これらへの対処をしたのが MMS モードです。

MMS モードは 2 つあります。

- ・MMS モード 1 (VWX-8V50 用) : 上記の(A),(B),(C) に対処したもの
- ・MMS モード 2 : 上記の(A),(B) に対処したもの

3.MMS モードへの切替えのしかた

モード切替えは DISC 送りのボタンで行います。



DISC 送りのボタンを押すと、ディスク番号が、“?”(MD デッキ) → “1”(MMS1) → “2”(MMS2) の順で循環します。

これで目的のモードにします。

VWX-8V50 用 の場合は “1”としてください。

これで設定は完了です。なお、設定したモードが有効になるのは、次の play からとなっています。再度 play しながら、表示が正しく行なわれていることを確認したら完了です。

(この設定は、ドングルの接続を外すまでは有効です。)

4.その他

- ・MMS の場合、トラック番号は“0”ではなく“1”から始まります。これは 1 時間毎にカウントアップされます。
 - ・VWX-8V51 の場合、モード 2 の可能性があります。
- 実際に使用して分表示に不具合があれば、お手数ですが MMS モード 1⇔2 を切替えてみてください。